

教科(科目)	水産(小型船舶)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年選択(資源育成コース・食品科学コース)
使用教科書	一般社団法人日本船舶職員養成協会発行『小型船舶操縦士学科教本Ⅰ』				
副教材等	株式会社舵社発行『2級小型船舶操縦士学科試験問題集』				

1 学習目標

小型船舶の操縦に関する知識と技術を習得させ、安全かつ適切な操船を行なう能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ①小型船舶を安全かつ適切に操縦し運航するために必要な知識と技術を習得させます。
- ②安全かつ適切な操船を行う能力と態度を育てます。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	◎小型船舶操縦者の心及び遵守事項 ○水上交通の特性	○陸上交通との違い ○他の水域利用者の特性及び注意事項 ○事故の発生状況	○水上交通の特性と他の水域利用者や漁具等に対する注意、事故防止のための点検及び準備の必要性を理解する。	11	○授業への取組 ○提出物の内容および期限順守
5	○船長の心得 (1学期中間考査)	○船長の役割・責任 ○シマシップと海のマナー	○船長が最高責任者であることを理解する。	11	○定期考査
6		○安全な航行をするための船長の心得 ○事故が起きた時の対応	○安全な航行をするための船長の心得・事故発生時の適切な対応を理解する。		
7	○船長の遵守事項 (1学期期末考査)	○小型船舶操縦者法に基づく遵守事項 ○小型船舶の免許・検査・登録制度 ○環境への配慮	○遵守事項及び小型船舶に関する登録制度を理解する。 同乗者にも遵守事項を守らせることを理解する。 ○関係規定を理解させ、環境保全の意識を高める。		
9	◎交通の方法 ○一般海域での交通の方法 ○港内での交通の方法 ○特定海域での交通の方法	○船舶が互いに見える範囲にあるときの航法 ○基本となる航法等 ○灯火、形象物、信号 ○港則法に定められた航法 ○港内での義務 ○適用海域・航路	○海上交通の基本である海上衝突予防法の正しい解釈と理解をするとともに灯火・形象物・信号を理解する。 ○一般法と特別法(港則法)の違い及び港内での特殊な航法を理解する。 ○一般法と特別法(海上交通安全法)の違い及び各航路に定められた通航方法・灯火等を理解する。	15	
10	○湖川・特定水域での交通の方法 (2学期中間考査)	○河川法・水上安全条例・その他の条例	○湖川・特定水域での交通ルールを理解する。		
11	◎運航(一般) ○操縦	○小型船の種類 ○操縦の基本 ○出入港と停泊 ○狭い水道等の航行	○小型船舶の種類や操縦特性等について理解する。 ○離着岸や係留方法及び狭視界時、狭水道等の操縦方	15	

	○航海の基礎	○水路図示 ○航海計器 ○沿岸における航法 ○航路標識	法の特殊性を理解する。 ○水路図示、航海計器、沿岸における航法、航路標識についての基礎的な知識を習得する。	
	○船体・設備・装備品	○船体各部の名称 ○設備・装備品及び法定備品 ○発航前の点検 ○船体の保存・手入れ	○船舶形状・機関種類により操縦性能が異なることや、発航前点検の重要性を理解する。 ○結索名と結び方を習得する。	
	○機関の取扱い	○エンジンの基礎知識 ○エンジンの主な系統 ○発航前の点検	○発航前の点検と整備方法及び各部の役割を理解する。	
12	(2学期期末考査)	○基本操作と点検・整備		
1	○気象・海象	○天気の基本知識 ○潮汐・潮流の基本知識	○天気図に記載された内容の意味を理解する。	12
	○荒天航法と海難防止	○荒天時の操縦 ○事故対策(衝突・乗揚げ・浸水・火災・転覆・機関故障・落水)	○事故発生前に事前の調査と点検及び、見張りの励行の重要性を理解させ、安全確保の意識を高める。	
2	(学年末考査)			

計 64 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

○各单元及び実習ごとに課題等の提出を指示することがあります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○海上交通の特殊性に関心を持ち、資格取得のために意欲的に知ろうとしている。 ○海事従事者の一員としての心構えや態度を身に付けようとしている。	○安全な航行をするための事故防止対策及び、海上法規の規定に定められた事項及び、灯火・形象物から避航・保持動作の判断ができる。	○小型船舶の取扱いに関する基礎的な知識・技術を身につけて、的確な操船をすることができる。	○安全な航行をするための調査や情報収集ができ、海上交通の特殊性や孤立性を認識し、関係法規をもとに安全に航海する知識を持ち、十分理解している。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <p>○授業への取組(授業態度、出席状況、発表、学習活動への参加状況など)</p> <p>○課題等の提出物(内容および期限の順守)</p> <p>○定期考査</p> <p>○確認テスト</p> <p>○自己評価</p> <p style="text-align: right;">などから、総合的に判断します。</p>			

6 担当者からの一言

漁船を含めた、小型船舶の安全な運航に必要な知識と技術を身に付け、2級小型船舶操縦士免許の取得を目指しましょう。

(担当：久保田 和平)